

# 学校評価シート（自己評価）

こゆるぎ幼稚園

## 1・教育理念、教育方針

<p>○教育理念 元気で 心優しく しっかり考えられる子を育てる</p> <p>○教育方針 健康でたくましい身体の子どもを育てる ・元氣よく遊べる子      ・物事に興味関心を持つ子 優しい心を持った子どもを育てる ・友だちと協力できる子      ・仲良く遊ぶことができる子 自立できる子どもを育てる ・はっきり話をする子      ・人の話をよく聞く子      ・物事をしっかり見つめる子</p>
--

## 2・具体的な目標や計画

<p>評価項目に沿って自己点検、自己評価することにより、教師自らが第すが三者の立場で自園を見る目を養い、教育内容・教育環境等の改善に取り組んでいくことを目標とする。</p> <p>また、子ども理解・幼児教育の質の向上を促進するため園内外の研修に積極的に参加し、その情報や手法を教員間で共有することで園全体の教育力の向上を目指すとともに、教員一人ひとりがマネジメント力を発揮することで、園全体の良い組織風土の定着を目指す。</p>
--

## 3・評価項目の取り組み及び達成状況

評価項目	結果(※)			結果の理由
	A	B	C	
子どもが主体的に遊びを楽しむと共に遊びの中に学びのある教育活動を展開する。	A <sup>-</sup>			子どもたちの声に耳を傾け、興味や関心に基づきながら、主体的に活動に関われるように内容を工夫して実施できた。また、例年通りではなく、今の子どもたちの姿にあった内容の活動を挑戦できた。
園内の施設環境、子どもに対する教育環境等の見直し・改善に努める。	B			子どもの動きや活動の流れを意識した環境設定を行えたと思う。廃材コーナーやアトリエは使い勝手や魅力的であるかななどを今後も考えていきたい。
教育活動の環境整備にあたっては子どもたちの安全・安心が確保され、コンプライアンスが十分に守られた環境を提供できている。	B			物の置き場の工夫が今後必要である。また木製遊具で棘が刺さってしまう事例が複数回あったので対応していきたい。今後も大きなケガ等が無いよう環境整備に努める。
子どもについてクラス・園全体で話し合い、情報共有・共通理解・対応の整合を図る。	A			クラス（学年）内での話し合い・共有をしっかりと行った上で、園全体として子どもたちの情報共有を行ったことで、学年を超えた関りができた。

園だより・ボードフォリオ・こゆるぎ日記等で、園の教育について適切に情報を提供する。	A <sup>-</sup>	教育活動のねらい・子どもの姿・どのような学びがあったかなどを、それぞれのツールを通して発信できた。
内外の研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めると共に、園全体の子ども理解・保育の質の向上に努める。	B	外部研修を受け、その学びを園内研修という形でアウトプットすることで、全体での共有に努めた。研修で得た学びを、どのように取り入れていくか工夫する必要がある。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や意見に適切な対応を図る。	B <sup>-</sup>	意見を聞く場を設けたり、アンケートを実施したりと、今年から新たに組み合わせたことがあった。要望や意見から自身の保育を見直すきっかけにもできる。
自らの業務はもちろん、園全体の業務を円滑にするための取組みに気付き、役割を越えた関りが持てる。	B <sup>-</sup>	学年の仕事だけでなく、園全体に目を向けた気づきや業務に取り組めたと思う。しかし、まだまだできることはあるため、継続して意識していく。

#### 4・具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	全体として、子どもたちに向かう、教育活動のあり方や環境整備については、意識を持って取り組めたことで、成果として認められる部分も多かった。しかし園全体の業務の改善や質の向上の部分では、更に改善の余地があり、また求められるため、今後の課題としていく。

#### 結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分ではない

#### 5・今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
環境への取り組み	子どもたちの動きや活動を想定し、より学びが深くなるような環境を考え、具体的に例を示しながら用意した上で活動を行えるよう取り組む。また、働く場としての環境改善も意識し、効率的に業務に取り組めるよう見直しを行う。
教育・保育の質の向上	一人ひとりの教職員が自身の役割を全うした上で、その役割を越えて他学年や園全体に目を向けることで、園内全体における子どもたちとのかかわりの質が向上し、多角的な視点からの教育アプローチが展開できるよう意識する。